

2017年9月改訂

動物用医薬品

貯法	室温保存
----	------

承認指令書番号	9畜A第2210号
販売開始	昭和46年8月

解熱・鎮痛・抗アレルギー剤

劇薬 指定

ネオアスP NEOAS P

【本質の説明又は製造方法】

本剤は、解熱・鎮痛・消炎剤・呼吸器用剤及び抗ヒスタミン剤を配合した注射剤で、気管支拡張作用及び抗アレルギー作用により、諸症状を総合的に改善する。

【成分及び分量】

本剤は100mL中に下記成分を含有する。

- スルピリン水和物・・・・・・・・・・10,000mg
- dl-メチルエフェドリン塩酸塩・・・・・・・・1,000mg
- クロルフェニラミンマレイン酸塩・・・・・・・・50mg

【効能又は効果】

牛・馬・豚・犬・猫：感冒、肺炎、気管支炎等の解熱、鎮痛、鎮咳、去痰

【用法及び用量】

1回体重1kg当たり、下記量を1日1～3回皮下、筋肉内又は静脈内に注射する。
牛・馬・豚・犬・猫：0.04～0.1mL

【使用上の注意】

(基本的事項)

1. 守らなければならないこと

(一般的注意)

- ・本剤は獣医師の指導の下で使用すること。
- ・本剤は定められた用法・用量を厳守すること。
- ・本剤は効能・効果において定められた目的にのみ使用すること。
- ・本剤投与後、下記の期間は食用に供する目的で出荷等を行わないこと。

牛・馬・豚：10日間 牛乳：36時間

(取扱い及び廃棄のための注意)

- ・小児の手の届かないところに保管すること。
- ・本剤の保管は直射日光、高温及び多湿を避けること。
- ・0℃以下で長期間（2～3箇月）保存すると結晶が析出する場合がありますので注意すること。
- ・注射器具は滅菌されたものを使用すること。
- ・使用済みの容器は、地方公共団体条例等に従い処分すること。
- ・使用済みの注射針は、針回収用の専用容器に入れること。針回収用の容器の廃棄は、産業廃棄物収集運搬業及び産業廃棄物処分量の許可を有した業者に委託すること。

2. 使用に際して気を付けること

(使用者に対する注意)

- ・誤って注射された者は、直ちに医師の診察を受けること。

(専門的事項)

①重要な基本的注意

- ・本剤は、肝、腎、血液に障害を有する動物に使用する場合には健康状態を考慮し、投与の適否の判断を慎重に行うこと。
- ・本剤の有効成分であるスルピリン水和物は、実験動物で変異原性及び催奇形作用が認められているので、治療上必要な場合以外は使用しないこと。

②その他の注意

- ・本剤を静脈内に注射する場合には、血圧低下を起こすことがあるので、できるだけ緩徐に注入すること。
- ・本剤は、筋肉内又は皮下に注射した場合、局所に硬結、神経麻ひを起こすことがあるので投与後、観察を十分に行うこと。
- ・本剤をサルファ剤の注射液と混合した場合、結晶が析出することがあるので混合しないこと。

【薬理学的情報等】

(薬効薬理)

1. スルピリン水和物

解熱・鎮痛・消炎作用を有するピラゾロン化合物で、その解熱作用はアンチピリンの3倍、アミノピリンと同程度といわれている。

2. dl-メチルエフェドリン塩酸塩

気管支拡張作用、鎮咳作用及び抗アレルギー作用を有する。

3. クロルフェニラミンマレイン酸塩

強力な抗ヒスタミン作用を有し、気管の分泌を減じ、血管収縮作用を有する。

【包装】

100mL×10バイアル

【製品情報お問い合わせ先】

東亜薬品工業株式会社 学術営業部
〒151-0073 東京都渋谷区笹塚2丁目1番11号
TEL:03-3375-0511

獣医師、薬剤師等の医薬関係者は、本剤による副作用などによると疑われる疾病、障害若しくは死亡の発生又は本剤の使用によるものと疑われる感染症の発症に関する事項を知った場合において、保健衛生上の危害の発生又は拡大を防止するために必要があると認めるときは、上記【製品情報お問い合わせ先】に連絡するとともに、農林水産省動物医薬品検査所 (<http://www.maff.go.jp/nval/iyakutou/fukusayo/sousa/index.html>) にも報告をお願いします。

製造販売元



東亜薬品工業株式会社
東京都渋谷区笹塚2丁目1番11号